

鶴野地域における公共施設再編に係る住民説明会（質疑要点録）

日時：令和6年3月24日（日）

午前10時00分～午前11時40分

場所：環境センター3階 見学者室

◇市出席者

市長 森山
総務部 理事（防災危機管理）丹羽
生活環境部 理事（環境業務課）西川、環境業務課長 三浦、環境業務課長代理 橋本
建設部 次長 松倉、水みどり課長 宮城
教育総務部 部長 安田、教育政策課長 松田、教育政策課長代理 藤原、
教育政策課副参事 井上、教育政策課保健給食係長 寺西

◇住民参加者 32名

■冒頭市長挨拶

本日は、「鶴野地域の公共施設の再編」に関する説明会にご参加いただき感謝いたします。

その街で出たごみはその街で処理するという大原則のもと、摂津市は山も谷も無い中で、ごみをどこで処理するかという問題があった。そのような中、市のほぼ中心地である鶴野地域の皆様のご理解の元、焼却施設を作ることができた。焼却施設稼働中は地域の皆様には様々な面において多大なご迷惑をおかけした事について、お詫びとお礼を申し上げます。

環境センターは昭和42年から稼働を始め、実に55年もの長きにわたり、摂津市内の一般廃棄物の焼却を行ってきた。

環境センターの運営を安全かつ安定的に実施できたことにつきましては、鶴野地域の皆様の多大なるご理解とご協力があればこそ成しえたことであり、改めて深く感謝申し上げ、重ねて、重ねて御礼申し上げます。

現在、茨木市とのごみ処理の広域化も完了し、環境センターについては、「ごみ収集拠点」として活用しているが、今後は環境センターの建屋どうするのか、跡地をどう活用するのかという問題があります。

この問題に対し、「環境センターの解体」「高台公園の整備」「給食センターの設置」からなる「鶴野地域の公共施設の再編」を計画させていただいた。

環境センターの解体等については、多額の公費が必要となるが、これまでの鶴野地域の住民の皆様のご協力等に報いるためにも、「この問題をいつまでも放置することはできない」

「跡地を有効活用し、鶴野地域の防災上の課題解決と魅力向上を図りたい」という想いで、様々な検討を重ね、今回の計画を提案するに至った。

本日は、担当より「環境センターの土壤汚染調査の進捗状況」「高台公園の防災機能」「環境センター及び公園整備等に関する都市計画手続」並びに「給食センターの設計等」について、令和6年度の動きを中心に説明させていただくので、忌憚のないご意見等を賜りたい。

■主な質疑内容

【環境センター】

- 土壤汚染調査はしているとのことだが、地下ピット内の汚染調査はされているのか。
⇒地下のごみピットの内部については洗浄をしており、中に人が入って確認ができる状態にはなっている。今後、環境センター内のダイオキシンやアスベストの調査を実施する予定としている。
⇒地下ピットを撤去するには費用が非常に高額になるとのことだが、高台公園になる場合、地下ピットは撤去するのか。或いは、埋めてシーリングして高台にするのか。
⇒地下ピットについては、洗浄後、現在の場所に存置した形で埋める予定としている。

【給食センター】

- 給食センター建設に反対するものではないが、公園跡地ではなく高台公園に給食センターを建設することはできないのか。
⇒市としては、環境センター跡地は給食センターではなく、水害リスクへの対応と地域の賑わい創出を目的とした高台公園を設置したいと考えている。
⇒環境センター跡地に給食センターができない理由をもう少し説明してもらいたい。
⇒現在土壤汚染調査を進めており、最終結果はまだ出ていないが、土壤汚染があると思われる。土壤汚染された土の撤去や、地下のピットの撤去にはかなりの費用が必要となる
⇒環境センター跡地に給食センターを建てる場合は、10m程地下まで掘り下げ、土を全て入れ替え、遮断壁を作る等の対応が必要となり、莫大な予算を投入する必要がある。これは物理的にも財政的にも不可能。検討を全くしなかったわけではないが、不可能という結論に至った。
- 給食センターでは1日3500食作るとのことだが、1日あたり何台程度のトラックの出入りを想定しているのか。また集中する時間帯は何時頃を想定しているのか。
⇒建設当初から3500食というわけではなく、今後小学校給食の補完が必要になった際

に対応することを想定しており、最大値が 3500 となる。当初は 2500 食程度でスタートする予定としている。トラックの出入りについては、給食の配送では 1 日 2 台のトラックが 4 往復程度の予定としており、10 時半頃から中学生がお昼ご飯を食べ終わる頃の時間帯に出入りすることとなる。その他に材料を運ぶトラックもあるが、材料搬入のトラックの時間帯については、今後の検討となる。

- トラックの搬入路は決まっているのか。この地域は準工業地帯ということもあり、運送会社の施設や住宅が混在しているが、住宅街を通るという認識で良いのか。

⇒給食センター建設予定地の北東水路沿いを通る予定としている。

- 給食センターの図面はいつできたのか。市議会でも 3 丁目の人と話を進めていくと言っていたが、勝手に進んでいるのではないか。

⇒図面については、このような構想を考えているというものを示した。各論についてはさらに住民の皆様と掘り下げて説明会等々をすることになると思われる。

- 鶴野第二公園の場所に給食センターを建てるのが嫌だと言っている。

⇒市として、環境センターを解体後の跡地の活用として、安心安全、コミュニティ空間の創出が大事なテーマと考えている。限られたスペース、限られた財源の中で、どうすべきかと考えるのは我々の責任であり、今回は鶴野第二公園で給食センターを建てるという方針を決めたもの。今後も住民の皆様のご意見を聞きながら進めていきたいが、どうしても無理なこともあり、非常に難しくも大切な課題であるため、何とか理解をしていただきたいと思っている。

- 最終的には中学生のために給食センターが市内のどこかに建つと思うが、ただ給食を作るだけの施設ではなく、食育の拠点になるような場所にしてほしい。もし鶴野に作るのであれば、鶴野には子ども食堂がないので、子ども食堂の拠点にするなど、摂津市の子どもの食育の拠点になる施設に是非していただきたい。

⇒要望

- 鳥飼で小学校合併の話があると聞いたが、鳥飼東小学校辺りで給食センターを作ることではできないのか。三宅小学校もそうだったが、合併後の運動場は空き地になってしまう。どうしても給食センターが必要なのであれば、学校を利用することはできないのかも考えていただきたい。

⇒要望

- 給食センターが鶴野第二公園にできることは決定なのか。
⇒これまで、学校施設内に設置できないか、他の公園で建設できないかなど検討してきた中で、どれも厳しかったため、令和5年3月、6月に鶴野第二公園を候補地とするということで説明をしてきており、市としても基礎調査を進めてきた。今回、どのような施設で、どのような配置になるというイメージをお示しし、基本的にこのイメージで進めさせていただくということで、本日は説明をさせていただいた。
- 中学生の全員喫食は良いことだが、建設場所が悪い。場所がないなら無理やり作ろうとせず、高槻市や大阪市のように親子調理方針やデリバリー給食で全員喫食を目指せば良いのか。そのあたりをもう少し考えていただきたい。
⇒要望

【防災】

- 水害が5mとなると、給食センター自体が水害に遭うのではないか。鶴野第二公園ではなく、環境センター跡地に給食センターと緊急避難場所を作ってほしい。
⇒鶴野第二公園や給食センターの高台化については検討していない。災害は水害だけでなく、地震もある。地震の場合は仮設住宅の建設や応援部隊の受け入れなど広い土地が必要となってくるため、環境センター跡地には広い敷地を確保し、鶴野地域の防災面、ひいては摂津市の防災力を上げていきたいと考えている。
⇒掘削には相当な手間もかかり、ダイオキシンもあるのに公園を作ることは無理ではないのか。
⇒ダイオキシンには絶対出てはいけないとされている種類もある。給食センターを建設することはできないのに、子供たちを遊ばせる公園を作ることは良いのか。
⇒土壌調査については、現時点ではまだ全ては分かっていない。土壌汚染対策としては、上に土を盛るだけでなく、汚染エリアについてはアスファルト或いはコンクリートで舗装をしたうえで土を盛ることになると思われるが、大阪府とも相談のうえ、適切な方法で法令に則って対応したいと考えている。
⇒土壌調査の結果、何が出たのかは報告してもらいたい。
⇒要望

【新たな公園、公園移転】

- 鶴野第二公園については、子供会活動やボーイスカウト活動で、ここでしかできない飯ごう炊さんや火起こし、国旗掲揚などで活用している。そのような青少年育成の場を取り上げることにについて、どう考えているのか。ずっとダイオキシンが残る環境センター

跡地の公園で活動しなさいと言われても無理。

⇒鶴野第二公園のキャンプ施設については、令和7年度から平和公園に移設できるように検討を進めている。検討に当たっては、ボーイスカウト団体等の意見を聞きながら進めていきたい。

⇒平和公園のような狭いところでは、テントも張れず、炊事場の組み立ても出来ない。人の往来も多く、接触の危険もあり、荷物の搬入もできない。地域の公園を無くさないでもらいたい。

⇒知らない部分も多々あるため、話を聞かせていただいたうえで検討していきたい。

⇒地域の皆さんと子供たちが公園で遊び交流する機会も非常に大事だと認識している。一方で、教育委員会としては、中学校の子供たちへの給食提供という課題もある。本当は同時進行できればよいのだが、今回は申し訳ないが中学校給食を進めたいと考えており、ご理解願いたい。

⇒鶴野では半世紀にわたってごみを処理してきており、大変なご迷惑ご心労をかけてきた。そのお返しとして限られたスペース、限られた財政、限られた条件の中でいかに最大公約数を作るかを考えた際に、安全安心とコミュニティ空間の二つをテーマとして環境センター跡地を整備してお返しすることを考えた。

- 安全な防災公園にするために、汚染された土壌を封じ込めるとのことだったが、全部掘った方が安全なのであれば、お金がかかっても安全な方を選んでいただきたい。

⇒要望

- 鶴野第二公園は広く、ボールで遊ぶこともできる非常に人気の公園となっている。今の計画では鶴野第二公園がない期間は5年となっている。防災公園が将来出来るから良いだろう、ではなく、その5年間の対応をしっかりと考えていただきたい。平和公園の代替案の話があったが、鶴野の公園は減った状態となる。そのことをしっかりと考えていただきたい。

⇒要望

【その他】

- 今回のような会を報告会ではなく、説明会、話し合いの場として地域の方の声を聴いてほしい。

⇒要望

以上